

通 告 者	質 問 内 容	時 間
遠藤 洋一	○ 横田基地について 1 クラーク基地からの移駐について 2 PACEX演習について 3 B52の飛来について 4 基地公開日について 5 六〇八月期の離着陸数について ○ 市民会館の臨時駐車場について 1 工事の経過について 2 市長の考え方について ○ 情報公開条例について 1 経過について 2 市長の考え方について 3 条例制定の考えについて	二 時 間
野口 秀世	○ 都市基盤整備について 1 西口再開発のその後について 2 銀座通りについて	一 時 間
赤星 行人	○ 国際都市を目指して 1 世界村建設について 2 姉妹都市について ○ コミュニターについて 横田基地を活用したコミュニターの考え方について ○ 教育行政について ボランティア活動普及事業協力校について	一 時 間 三 十 分
須釜 亮次	○ 環境整備について 1 ごみ対策について 2 路上の違法駐車について ○ 教育問題について 1 中学校給食に対する審議会の経過について 2 不健全図書やホラービデオ等の対策について ○ 地域体育館について 福生地区に地域体育館を建設する計画について	一 時 間

福生市長
石
福生市議
仲

このこと
より、次の

1 検 査 日
2 場 所
3 対 象

原 敏子	○ 福祉施策について 1 老人入院見舞金制度の実施について 2 デイケアの実施について ○ 教育行政について 中学校における校内環境等について ○ 米軍横田基地について 市民生活への影響について	二 時 間
在 原 博	○ 市制二十周年にあたって 平成二年度に市制二十周年にあたり、その記念事業計画について ○ 都市基盤整備について 拝島駅周辺の対策について ○ 消費税問題について 1 市長として消費税廃止要求を表明する考えについて 2 市民・市財政への影響調査について 3 老人・障害者・年金生活者などへの市独自の緊急対策について	一 時 間
松 山 清	○ 基地問題について 1 クラーク基地からの部隊移駐のその後の経過について 2 日米友好親善祭についての市長の見解について 3 夜間離着陸訓練について ○ 中学校給食問題について 審議会のその後の経過について	一 三 十 分
大 森 進	○ 横田基地について 1 クラーク基地からの部隊移駐の状況について 2 B52の飛来について 3 一月～八月までの飛行回数について 4 基地資料集の進行状況について ○ 公園管理について 1 公園管理の今後の考え方について 2 中福生公園とその周辺の交通及び安全対策について ○ 生活資金貸付事業について 緊急時における生活資金貸付事業について	一 三 十 分
小 野 沢 久	○ 雨水の活用について 1 公共施設での雨水の利用について 2 雨水の地下浸透について ○ 横田基地について 基地外居住者の近隣迷惑について	一 時 間

	○ 教育行政について 1 スポーツ基金等の検討結果について 2 第二中学校の工事について	
田村 正秋	○ 学校教育について 市内小中学校における非行化防止対策について ○ 行政推進のあり方について 1 市民会館の仮駐車場問題について 2 遊休地の活用について ○ 公園建設について 今後の公園建設時に、市民の声を反映させる考えについて	一 時 間
宮沢 良一	○ 基地問題について 移駐のその後の動きと今後の運動について ○ 福祉問題について 付き添い看護料の一時立て替え制度について ○ 青少年問題について 1 青少年問題協議会における家庭の日について 2 健全育成のための基金設置について	一 時 間

第三回福生市議会定例会会議録 (第十二号)

平成元年九月十二日福生市議会議場に第三回福生市議会定例会が招集された。

出席議員は次のとおりである。

一	出席議員は次のとおりである。	一	出席議員は次のとおりである。
一番	田村正秋君	二番	大森進君
四番	浜中輝夫君	五番	須釜亮次君
七番	佐藤慶二君	八番	林田武君
十番	村野和一郎君	十一番	松山清君
十三番	遠藤洋一君	十四番	赤星行君
十六番	井上寅吉君	十七番	上野重勝君
十九番	堀川寅實君	二十番	指田雄君
二十二番	宮沢良一君	二十三番	仲村清信君
二番	大森進君	三番	野口秀世君
五番	須釜亮次君	六番	南木繁男君
八番	林田武君	九番	在原博君
十一番	松山清君	十二番	原敏子君
十四番	赤星行君	十五番	齋藤巽君
十七番	上野重勝君	十八番	小野沢久君
二十番	指田雄君	二十一番	東田正治君
二十三番	仲村清信君	二十四番	村尾栄次君

なし

欠員は次のとおりである。

なし

一 議会議事務局職員は次のとおりである。

議会議事務局局長 須崎 進君 議事係長 島田 幸治君 臨時速記 山川 芳子君

出席説明員は次のとおりである。

市長 石川 彌八郎君 助役 浅見 裕康君 収入役 内田 和雄君

教育 長 来住野 和也君 行政推進 担当 参事 関口 清君 企画財政部長 野沢 久人君

総務 部長 森田 進君 市民部長 岩崎 好亮君 福祉部長 石川 和夫君

建設 部長 小野 光朗君 教育次長 古谷 正夫君 監査委員 佐藤 喜一郎君

委員 選挙 局 管理 長 理事 川辺 登茂次君

一 本日の議事日程は次のとおりである。

平成元年第三回福生市議会议事日程（第二日目）

開議日時 九月十二日（火）午前十時

日程第一 一般質問

日程第二 議案第七十号

福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

日程第三 議案第七十一号

福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

日程第四 議案第八十一号

福生市行政改革審議会条例を廃止する条例

日程第五 議案第八十二号

福生市基本構想審議会条例を廃止する条例

日程第六 議案第七十二号

福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

日程第七 議案第七十三号

福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

日程第八 議案第七十四号

福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

日程第九 議案第七十五号

福生市児童育成手当条例の一部を改正する条例

日程第十 議案第七十六号

福生市児童遊園条例の一部を改正する条例

日程第十一 議案第七十七号

福生市老人福祉手当条例の一部を改正する条例

日程第十二 議案第七十八号

福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

日程第十三 議案第七十九号

福生市火葬費等の助成に関する条例の一部を改正する条例

日程第十四 議案第八十号

福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例

日程第十五	議案第八十三号	東京都町村公平委員会共同設置規約の変更について
日程第十六	議案第八十四号	東京都町村職員退職手当組合規約の変更について
日程第十七	議案第八十五号	平成元年度福生市一般会計補正予算(第二号)
日程第十八	議案第八十六号	平成元年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
日程第十九	議案第八十七号	平成元年度福生市下水道事業会計補正予算(第二号)
日程第二十	議案第八十八号	福生市指定金融機関の指定について
日程第二十一	議案第八十九号	義務教育費国庫負担制度の堅持と削減、除外された費用の復元を求める陳情書
日程第二十二	陳情第一一九号	「義務教育費国庫負担法」の改正に反対し、これまでに除外・削減された費用の復元を求める陳情書
日程第二十三	陳情第一一十号	「仮称多摩河原公園」内への椅子子用トイレ等の設置に関する陳情書
日程第二十四	陳情第一一十一号	国民医療改善についての陳情書
日程第二十五	陳情第一一十二号	消費税の即時廃止を求める陳情書
日程第二十六	陳情第一一十三号	消費税の廃止を求める陳情書
日程第二十七	陳情第一一十四号	

午前十時 開議

○議長(仲村清信君) ただいまから平成元年第三回福生市議会定例会第二日目の会議を開きます。

○議長(仲村清信君) この際、署名議員の一部に欠員がありますので、補充いたします。

三番野口秀世君を署名議員として補充いたします。

○議長(仲村清信君) この際、報告事項がありますので、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。

(須崎議会議務局長報告)

一、陳情書の受理について(別添参照)

二、平成元年七月分例月出納検査の結果について(報告)(別添参照)

○議長(仲村清信君) 以上で報告は終わりました。

○議長(仲村清信君) 本日の議事運営については、議会運営委員会において検討されておりますので、委員長から報告を願います。

(議会運営委員長 村野和一郎君登壇)

○議会運営委員長(村野和一郎君) おはようございます。御指名をいただきましたので、昨日、本会議終了後に開催いたしました議会運営委員会の結果につきまして、御報告いたします。

まず、本日の日程でございますが、昨日残りしました一般質問を冒頭に組みまして、その他は昨日と同じ順序といたしました。また、新たに陳情三件が提出され、本日の日程に追加し、その順序につきましては、お手元に御配付の日程表のとおり編成いたしました。

次に、新たに提出されました陳情三件につきましては、お手元に御配付の付託表のとおり、それぞれ所管の委員会へ付託審査願うことといたしました。

以上のように議会運営委員会としては決定いたしました。本日の会議が円滑に運営されますようお願い

い申し上げまして、御報告いたします。

○議長（仲村清信君） ただいま、委員長から報告されたとおり本日の議事を進めますので、よろしく願います。

○議長（仲村清信君） これより日程に入ります。

日程第一 初日に引き続き一般質問を行います。十一番松山 清君。

（十一番 松山 清君登壇）

○十一番（松山 清君） 一般質問をさせていただきます。

第一番目の質問は消費税問題についてであります。

さきの参議院選挙は、消費税を最大の争点として行われました。この選挙で自民党は比例代表区で得票率二七・三％、福生市では二二・三％、議席過半数割れという歴史的惨敗を喫しました。消費税は廃止すべきとの明確な国民の審判が出されたわけであります。そこで、市長はこのような国民、市民の意向を踏まえて、消費税に対して、今日どのように考えておられるのかお尋ねするものであります。三月議会での答弁では、消費税に対して国権の最高機関である国会において決定されたものでありまして、市長は法に従う立場にありまして、廃止を要請する立場にないと考えているというような答弁をしておりました。しかし、国民、市民の審判を尊重して、市長としても消費税廃止の要求を表明する考えを持つようになったのかどうか、まずお聞かせいただきたいと思います。

二つ目は市民、これは中小商店の売り上げなどを含めた、そうした市民への影響調査並びに市財政への影響調査、こうしたものを既に実施しているかもしれませんが、そうした調査をしておればお聞かせいただきたいし、まだであれば今後調査をしていただきたいと思います。いかが考えておられるかお聞かせいただきたいと思います。

三つ目は消費税の大きな影響を受けている老人、障害者、年金生活者などへの市独自の対策をとるべきだと、私は思っております。既に日野市におきましては実施しておりますが、こうしたことを福生市とし

ても考えてはどうかと思いますが、どのように考えておられるかお聞かせいただきたいと思います。 第

二番目の質問は、基地の問題についてであります。

一点目は昨日も同趣旨の質問がありましたが、クラーク基地からの部隊移駐の経過についてお尋ねをいたします。

二点目は八月十九、二十日に行われました日米親善祭と称する基地の公開についてであります。市長も招待されて見学をしたようでありますけれども、今回の基地公開では、戦略爆撃機B52の展示など米軍、自衛隊の軍用機展示のパレードでありました。平和を願う住民の心とは、絶対に相入れないものであります。昨年は天皇自肅で中止になりましたので、石川市長は、市長としては初めての招待になったわけでありまして、参加をしてみても、こうした催しに対して、市長としてどのような見解をお尋ねするものであります。

三点目は夜間離発着訓練についてであります。幸いというか、前議会六月から今議会九月まではE2Cの訓練はなかったわけでありますけれども、岩国、三沢などでは艦載機の訓練が行われました。いずれの基地でも周辺住民の厳しい抗議を受けております。そうした中で、例えば三沢基地のドレイニ報道部長が、硫黄島に施設が完成しても、厚木、横田、岩国、三沢での訓練の必要性が全くなくなることはない。これは八月十六日の談話であります。こうした発言を聞く限り、硫黄島への基地建設は、新たな訓練場を提供するだけで、根本的な横田でのNLPの中止につながるものでないことは明らかであります。市長の見解をお尋ねいたすものであります。

第三番目は中学校給食についてであります。

市民が大変注目をしております。この審議会が発足して既に何回目かの審議が行われているわけであり、前議会でもお聞きいたしました。前議会以後の審議会の経過をつぶさにお聞かせいただきたいと思います。以上でございます。

（市長 石川彌八郎君登壇）

○市長（石川彌八郎君） 松山議員さんの一般質問に御答弁申し上げます。

最初に御質問の消費税問題につきましての一点目、消費税の廃止要求を表明する考えがあるかどうかという御質問でございますが、消費税は本年四月より実施されましたが、我が国の税法上、実質的には初めてのことでありますので、各方面からさまざまな反響が新聞、テレビ等で報道されておりますので、課税の実際を通じての手直しの可能性があるように聞いておりますので、その推移を見ていきたいと、かように思っております。

次の市民への調査の件でございますが、私は市の消費者モニターや商店主の方から状況を聞いておりますが、調査につきましては、消費税が導入されまして、まだ期間も短いという点や見直しの可能性もあるということもありますので、実施する予定はございません。

三点目の老人、障害者、年金生活者などへの市独自の対策についてでございますが、新しい消費税は広く薄く公平に負担を求めているということでありまして、その定着までには若干の期間を要すると思ひますし、また、先ほども御答弁申し上げましたように、見直しの可能性もあるように聞いておりますので、その状況を見ていきたいと思ひます。

次に、基地問題についての一点目のクラーク基地からの部隊移駐のその後の経過についての御答弁を申し上げます。移駐が予定されております五部隊のうち、第六〇〇空軍音楽隊につきましては移駐が完了し、医療関係の第九航空医療救難飛行隊とC9関係の第三〇航空医療空輸飛行隊の二部隊につきましては、まだ、家族の移駐は行われておりませんが、兵員の移駐はほぼ完了いたしております。通信関係の第一八三七電子機器設置隊第一派遣隊と太平洋通信師団の分遣隊A班の二部隊につきましては、兵員家族の一部が移駐してきており、九月一日現在における移駐人員は軍人が二百三十一名、家族が百一名の計三百三十二名となっております。なお、C9三機につきましては、移駐が完了したとのことであります。また、C130四機を伴った第二一戦術空輸飛行中隊の移駐計画につきましては、米議会の承認がなされたとの情報を得ておりまして、近日中に通告があるものと思ひます。

二点目の日米友好親善祭についての市長の見解についてでございますが、遠藤議員さんにも御答弁申し上げましたとおり、空軍のフェスティバルということでありまして、軍用機の展示といった面での問題点

の御指摘もあらうかと思ひますが、反面各種のバンド演奏やリトル・シニアリーグの日米親善野球大会等、スポーツ・文化的行事も開催されるなど、日米の友好親善を図るという面での効果もあります。また、この横田基地日米友好祭は三十九回目を迎え、二日間で約十一万四千多人という多くの入場者もあり、定着した行事であると考えておりますので、今後中止要請をいたす考えは、目下のところはございませんし、招待があれば、都合のつく限り出席いたしたいと考えております。これは昨日申し上げたとおりでございます。なお、デモンストレーション飛行等が実施されるような場合におきましては、危険な飛行は避けるように、また、安全対策には万全を期するように申し入れたいと思っております。

三点目の夜間離着陸訓練についてでございますが、八月に三沢基地で実施されたミッドウェイの艦載機による夜間離着陸訓練の際、三沢基地広報部長が硫黄島に訓練施設が完成しても、厚木、横田、岩国、三沢での訓練の必要性が全くなくなることはないと言明したとの新聞報道がありました。本件に関しましては、三沢市に確認をいたしましたところ、広報部長は本年一月二十七日付の軍の準機関紙でありますところの星条旗新聞に報道されたデビス在日米軍司令官の硫黄島での訓練開始後も現在の厚木基地での訓練は続け、作戦上必要があれば三沢、横田、岩国の各地での訓練も続けることもあるという表明を引用したものであることとございました。硫黄島での訓練施設が完成しても、こうした懸念は、そういった意味では、確かに残るわけではございますけれども、基地及び国に対する再三にわたる中止要請の中で硫黄島での訓練実施の時期が横田での訓練をやめさせる最大のチャンスであるという、そういった感触を得ておりますので、今後引き続き粘り強く要請を続けてまいりたいと考えておるところであります。

次の中学校給食問題につきましては、教育委員会より答弁させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○教育次長（古谷正夫君） 自席からお許しいただきまして、中学校給食問題について審議会のその後の経過について御答弁をさせていただきます。なお、前議会におきまして御質問がございましたので、二回目、六月以降について御答弁をさせていただきます。六月の二十九日に開催させていただきました。それから、第三回目に

第二回目でございますけれども、六月の二十九日に開催させていただきました。それから、第三回目に

つきまして七月の二十五日でございます。同じ内容でございます基本的な問題でございますので、十分協議させていただいたわけでございます。その内容といたしましては、三項目を協議させていただきまして、第一点につきましては、傍聴についてというふうなことでございます。その結論といたしましては、他市の状況を参考にするというふうなことでございまして、発足時に取り決める必要はないのではないかと、申し出があった場合、その都度協議するというふうなことで結論を得たわけでございます。

次に、二点目の公聴会並びに三点目の中間報告でございますけれども、公聴会並びに中間報告については、方法、内容等十分研究する必要があるというふうなことから、現在でも継続審議中でございます。そのほかに審議するに当たりましては、十分審議する必要があるというふうなことから、視察の意見もございました。視察を実施するというふうなことからなされたわけでございます。それで八月、九月に実施するというふうなことで実施させていただいたわけでございますが、最初に未実施の市、田無市を視察させていただきます。と申しますのは、夏休みでございまして、八月は給食を実施しておりませんので、最初に未実施を視察させていただいたわけでございます。それから、九月には先ほど申し上げましたとおり日野市を視察させていただくというふうなことでございます。その後、諮問内容を十分審議されるものというふうな考えをしておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。以上でございます。

○十一番（松山 清君） 自席から再質問をさせていただきます。

消費税の問題から順を追って質問をいたします。一つは、市長は市民のためになることを一番大切にするとというのが、きのうのだれだったかの質問の中にそういうことが出まして、これはどの問題についても共通する問題だと思ふんです。先ほども登壇して言ったわけでございますけれども、最大の争点であった消費税に対して国民はノーという審判を下しましたし、福生市民もより厳しい審判を下したことは、選挙結果で明らかであります。だとするならば、これが市民の、まさに最大のためになることと言え、市長自身が消費税を廃止してほしいという表明をすることだと、今、この問題についていえば言えると思います。結局、手直しなどそうした推移を見ていきたいということは、あくまでも消費税を廃止してほしいという

市民の願いとは、正反対の位置にいる、そういう立場だと思ふんです。ですから、今まではいいですよ。今まではいろいろ消費税に対して、私が何度か質問してきました、それは国会の問題だとか、反対だとも賛成とも言えないとかいろいろ言ってきました。どちらかといえば、これは反対しないという立場をずっと貫いて通してきたわけですが、しかし、あの参議院選挙後は、もう明確に廃止というのが国民の意向なわけですし、市民の意向ですから、それを尊重しないということであれば、まさに民主主義もへったくれもなくなくなってしまふわけであって、少なくとも民主主義の最低限のルールを守ることであれば、もうこれは市長の個人的な考えはどうかわかりませんが、市長としては、当然、消費税を廃止すべきだということを声を大にして、やはり一定の表明をしていただかと思ひます。そのことが市民の最も利益を守っていく、市民のためになることだと思ひます。そういう点では、何度このことを私が再質問、再々質問で聞いても変わらないのかどうかわかりませんが、ぜひそういう立場に立っていただきたいというふうに、再度お聞きしたいと思います。

それから、消費税について、非常に中小商店の方もそうですし、もちろんすべてが負担をさせられているわけです。ですから、そういう実態を、やはり行政機関としてきちっと調査をして当たり前だと思ひます。消費税によって影響が大したことないなんて考えておられる方はどなたもいないと思ふんですね。ですから、期間が短いのかどうかじゃなくて、このわずか四月、五月、六月、七月、八月、五ヵ月、六ヵ月目に入ったわけですが、この短い期間であって、もう既に大変な大きな影響が、私は出てきていると思ひます。ですから、そういう点では、消費者モニターとかいろいろ方法はあるでしょうけれども、ぜひこの調査は、何としてもやっていただきたいと思ふんですね。

例えば、今まで家計簿なんか余りつけたことない。しかし、レジで買い物するたびに消費税をとられるので、これはもうとんでもないことだということ、克明に家計簿をつけている人、こういう人がたくさん出ましたよね。それで、もう消費税にうんざりだという。それからまた、いつか一万円のお金の特別の支給を国がやりましたけれども、そういうものをもらっても、差し引きすればもうどこかに行っちゃったというくらいに事態に、今なってきたというわけでありまして、これは、やはり行政として、当然そうい

う調査をするべきだろうと思います。同時に市民だけじゃなくて、三月の議会のときに市の財政に及ぼす影響というのは、基本的にいろいろ金額がずっと私の質問に出されております。不確定な部分もあるというふうなことも、一部含んでおりましたが、基本的には、あの三月議会での答弁での影響額というのは、そういう形で、今日変わっていないというふうに理解してよろしいのかどうか、その点もう一つお聞かせいただきたいと思っています。

それから、市独自の施策は、これはやるつもりがないということなんですけれども、これもいささかうかと思えます。やる気がないというわけですから、ますます私はやっていただきたいということを言わざるを得ないわけですが、そこで、例えば例の一万円を支給された人数は、これはすぐわかると思います。福生市内で支給された人数だけ、参考までにお聞かせいただきたいと思っています。

それから、基地の問題ですけれども、クラーク基地からの移駐は答弁を聞く限りというか、いろいろ情報を見る限り、着々と進められているわけでありですね。それで、市長はこの前議会以降、本議会までの間、C130等、いろいろなクラーク基地からの移駐に対して、中止要請なんかを何回、どういう相手にやってこられたのか、具体的にお聞かせいただきたいと思っています。それから、そのC130四機が議会承認になった。近日中に通告があるかもしれないですね。C130はあと十二機が残っているわけです。クラークに。これが、まだ行き先がわからないんですけれども、そういうことも含めて一生懸命情報収集をやっておられるかと思いますが、その辺については今のところは全く何の感触もありませんか。その点お聞かせいただきたいと思っています。

それから次に、日米親善祭のことについてちょっとお聞かせいただきたいと思っています。これにつきましては、市長はいろいろ軍用機の展示などの問題も指摘されている。だから、必ずしも全面肯定とも言えない答弁をされていると思います。ところで、教育長は昨日は他の議員の方の質問の中で、フェスティバルについては、総合的に見てすばらしいと判断したというのが結論だったようでございますけれども、こういうすばらしいと判断したという結論、それから、その前段にいろいろありました。軍用機の展示の問題とか、あえて言いませんが、これはもうすっかりお聞きになってわかると思いますが、ああいう教育長の

見解について、市長はこれを肯定するのかどうか、その見解をぜひここでお聞かせいただきたいと思っています。その点ですね。

それから、B52が来たわけですが、B52が沖縄の嘉手納以外に日本の本土に飛来したというような記録はほかにありますでしょうか。私はちょっとその記憶はないんですけれども、その点をまず確認しておきたいと思っています。B52が日本本土で横田以外に——今回の横田以外には二十四年前に来ましたが——来たというようものの記録というのはありますかね。ちょっと突然お聞きするような形になるかもしれませんが、そんな点ひとつ。

それから、もう一つはね、ぜひここで私、市長にお聞きしておきたいと思っていますのは、市長は今回、市長として基地の主催するお祭りに参加をいたしました。もう一つ、この基地に関してのお祭りというのがあります。御案内が行っていると思うんですが、今度の十七日の日曜日、これは住民側のお祭りです。第四回横田平和祭り、私のところにも案内が来てますけれども、昭島市の堀向児童遊園で行われるわけです。これは市長に案内状が行っていると思います。こういう住民が開く横田平和祭り、こういうものには参加するとか賛同するとか、いろいろお願いは行っていると思いますが、そういう気はないと私が言うんじゃない、ありますかどうか、今度の日曜日。ぜひこれは参考にお聞かせいただきたいと思っています。

それからもう一つ、昨日もこのお祭りの件で八小用地の、駐車違反の保管場所の問題で論議になりましたけれども、もう一つ、私お聞きしたいのです。よろしいですか。関連でお聞かせいただきたいと思えます。ここは、保管場所ということでお貸した形になってるわけです。経過から言えば、八月十九日の土曜日、多分、午前十一時過ぎぐらいだったと思いますが、私は大変気になりましたので、ちょっと見ました。そうしたら、あそこの自由広場のところにこの駐車場は午後八時に閉鎖しますというように書いていた看板があったんです。それで、私もびっくりしまして、教育委員会に対して、「駐車場として貸しているのかと、もともと駐車場として貸すなどということはあり得ないはずですから。」という電話をいたしました。そうしたら、電話を受けた方かどなたかわかりませんが、恐らく警察の方に言ったんで